

2019年7月24日

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会
教育部会

JNSAと情報科学専門学校、ゲームで内部不正を学べるスマートフォンアプリ 『セキュリティ専門家 人狼』を共同開発

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(会長:田中英彦、本部:東京都港区、以下、JNSA と略す)教育部会(部会長:平山敏弘)と学校法人岩崎学園 情報科学専門学校(学校長:岩崎文裕、住所:神奈川県横浜市、以下、情報科学専門学校と略す)は、JNSA が開発したアナログゲーム「セキュリティ専門家 人狼」を活用したスマートフォン(Android)用 無料アプリ『セキュ狼 - 『セキュリティ専門家 人狼』モバイル: SECWEREWOLF MOBILE』(以下、セキュ狼モバイル)を同校セキュリティゼミに所属する学生を主とした有志 6名の学生と共同開発しました。

同アプリに関しては、JNSAと情報科学専門学校が商標ライセンス契約を締結し、2019年7月24日リリースしました。

今後、本アプリに関する元のソースコードは情報科学専門学校にて維持を続け、オリジナルコードとして更新を行っていきます。

■アプリインストール URL

▶Andorid : <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.ac.iwasaki.isc.secwerewolf>

■共同開発の背景

JNSA 教育部会では、2017年1月23日にアナログゲーム『セキュリティ専門家 人狼』(<https://www.jnsa.org/edu/secgame/>)を発表し、これまで同ゲームの販売、教育機関や非営利団体、地域コミュニティに対するゲームファシリテーター派遣を実施してきました。

ゲームファシリテーター派遣を通じ、ゲーム体験会に参加した情報科学専門学校所属学生からのスマートフォンアプリ化に関する提案を受け、2018年5月に共同開発プロジェクトを発足いたしました。

JNSA 教育部会では、蓄積してきたシリアスゲーム(※1)の開発ノウハウを提供するとともに、スマートフォンアプリ開発における各工程([企画]>[要件定義]>[設計]>[デザイン]>[開発]>[テスト]>[リリース])のディレクションならびに、学生に対するプロジェクトマネジメント手法の導入支援などを通じて、教育支援の立場から本プロジェクトに参画いたしました。

情報科学専門学校 有志 6名の学生は、「アクティブ・ラーニング型授業」の一環としてスマートフォンアプリの開発に着手いたしました。また、アプリの試作版を教材として使う「アプリ体験会」を情報セキュリティの授業内で実施し、アンケートを通じて得た意見や指摘を踏まえて、誰でも楽しみながらセキュリティを学べるアプリを目指し、改良を重ねてきました。



スマートフォンアプリ『セキュ狼モバイル』のソースコードは、Apache License 体系にてオープンソースプロジェクトとして公開いたします。これにより、より多くの開発者からの継続的な改善と積極的な変更を促すとともに、情報科学専門学校では元のソースコードを維持し続け、オリジナルコードとして更新を行っていきます。

JNSA では、今後もゲーム教育がもつ力に着目し、さらに情報セキュリティ教育を波及させていくことを目指します。

■スマートフォンアプリ開発担当者(情報科学専門学校 在学生:開発当時)

| 名前 | 役割 |
|------|------------------|
| 西山裕紀 | コーディング |
| 野口将 | 進捗マネジメント・コーディング |
| 西海風吾 | ユーザーインターフェイスデザイン |
| 増田迅 | ユーザーインターフェイスデザイン |
| 河原純平 | ルールテキスト |
| 石井彩梨 | オリジナルイラスト |

<参考情報>

■『セキュリティ専門家 人狼』ゲームについて

<https://www.jnsa.org/edu/secgame/secwerewolf/secwerewolf.html>

『セキュリティ専門家 人狼』はチーム対抗戦のカードゲームです。「人狼」とよばれる伝統的なゲームを題材に、組織における内部不正やサイバーセキュリティ分野における専門家の役割についての学習を促すよう役職の変更が行われています。

ゲームの参加者は、最初に配られる役職カードによって、サイバーセキュリティの専門家となって CISRT 陣営に所属するか、犯罪者として内部で不正を働く「汚職者」またはそれに加担する「ブラックハットハッカー」となって犯罪者陣営に所属するか分かります。CSIRT 陣営は不正調査の手番(話し合い)で「犯罪者」と思われる人物を解雇し、「犯罪者」陣営は不正実行の手番(役職の能力発揮)で罪を転嫁し、解雇に追い込む従業員を選びます。これを繰り返して、自分の陣営を勝利に導くことを目的としたゲームです。

※1 シリアスゲームとは、そのプレイが娯楽を主目的として意図されておらず、社会における様々な問題解決を目的として開発されたゲームのことです。教育、訓練、医療・福祉分野等での活用が期待されています。

■ソースコード入手 URL

▶GitHub : <https://github.com/isc-iwasaki/secwerewof-mobile-android>

■本リリースに関するお問い合わせ先

特別非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 事務局

E-Mail:sec@jnsa.org TEL:03-3519-6440

※本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

■法人概要

【会社名】特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会

【所在地】東京都港区西新橋1-22-12 JC ビル4F

【事務局長】下村 正洋

【設立】2001年7月

【サイト】<https://www.jnsa.org/>